

企画セッション：フィリップス・カーブは死んだのか？
(神戸大学経済経営研究所 創立 100 周年記念事業 共催)

企画立案：神戸大学 柴本昌彦

1. 企画趣旨

「大胆な金融政策」「機動的な財政運営」「民間投資を喚起する成長戦略」という3つのポリシーミックス(いわゆる「アベノミクス」)により、日本のマクロ経済は比較的良好なパフォーマンスを続けている一方で、賃金や物価の上昇はあまり見られておらず、2%物価安定目標達成への懸念も見られる。本セッションでは、日本の低インフレの現状と課題、そして問題解決のための政策対応に関して、労働市場や賃金、マクロ経済政策運営という観点から包括的に議論を行う。星岳雄スタンフォード大学教授の基調講演の後に、日本を代表する労働経済学者、マクロ経済学者、政策当局の方をお迎えしてパネルディスカッションを行う。

2. 発表者

スタンフォード大学 星岳雄 教授

3. 報告タイトル

The Great Disconnect: The Decoupling of Wage and Price Inflation in Japan
(with Anil K. Kashyap)

Abstract

We take some well-known observations about the structure of the Japanese labor market and add new evidence about how it has evolved to study inflation in Japan. Our key finding is that labor market dynamics shifted after 1998 so that measures of labor market tightness and wages weakened noticeably. This change was accompanied in a break between wages and prices, so wage inflation is no longer an important determinant of price inflation.

4. 座長及び討論者

座長：大阪学院大学 本多佑三 教授

討論者：早稲田大学 黒田祥子 教授

討論者：東京大学 宮尾龍蔵 教授

討論者：日本銀行 白塚重典 金融研究所長

5. 所要時間

1時間30分：発表：30分、討論：10分×3、質疑応答/ディスカッション：30分

6. 報告言語：日本語